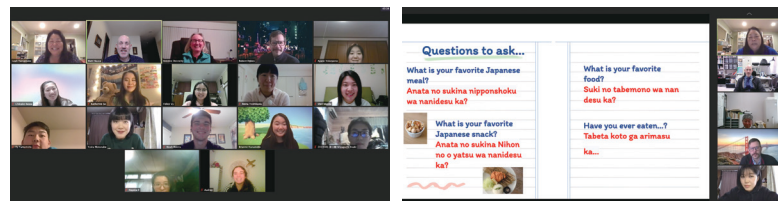


## Chatting in English with Leah Yamamoto

カリフォルニア州フラトン市のミドルスクールの教員であるリア・ヤマモトさんが中心となって、フラトン市の学生と会話を楽しむ会が1月13日(水)と1月27日(水)の2回オンラインで開催されました。本学の学生にとって言語や文化を学ぶ良い機会となりました。

February is quickly coming to an end and as I reflect on the wonderful opportunity of working with students from Jin-ai, I am most thankful for the continued friendship and partnership between the Fullerton Sister City organization and Jin-ai University. It was amazing to work with students on their everyday English skills and it was especially nice to have American students interacting with Japanese students. It seems that through this pandemic we have been given the fortuity to interact with one another due to modern technology. We were able to interact not only as a collective group but in smaller break out groups. It is events like this that will strengthen our bond and make everlasting connections. I look forward to more opportunities with Jin-ai and hope that one day soon we will see each other in our homelands. I end with prayers for continued good health. Thank you again!

- Leah Yamamoto



## Professor Dennehy's Lectures

カリフォルニア州立大学フラトン校のクリスティン・デネヒー教授によるオンライン講義が11月12日(木)および1月20日(水)の2回行われ、本学の学生・教員が参加しました。内容は、カリフォルニア州とフラトン市の紹介、カリフォルニアの日系アメリカ人の歴史、80年代のアメリカと日本などについて話していただきました。

Greetings to everyone at Jin-ai University from the Cal State Fullerton History Department! We're so pleased that we've been able to keep up our connections across the Pacific Ocean despite all the challenges of the pandemic. It's been wonderful to see so many students, faculty, and administrators in our online gatherings these past several months, including when I made presentations about the history of Fullerton, the history of Japanese Americans in California, and the bubble economy of the 1980s. Here in Orange County, I met with my 30 Japanese history students for our first class on January 28 and they are all very eager to learn about Japan during the Spring semester. We're really looking forward to the day when we can resume our study abroad programs and travel back and forth for visits in person. During our online class, we talked about regional differences throughout Japan, including food and specialty products like lacquer ware, so I hope our students can soon try some of the special regional dishes that Fukui is famous for. I also taught them how to say "hajimemashite" so they're looking forward to trying out their Japanese phrases with you too!

- Kristine Dennehy, Ph.D.

Professor and Teaching Credential Adviser  
Department of History, California State University Fullerton

## Farewell Words

**Mr. Robert Dykes** (English Education Center Instructor)

I have lived over one-third of my life in Fukui. My time in Fukui and Jin-ai has come to a close. My family and I will be moving to Kumamoto. I am glad that I got to be a part of the Jin-ai group. The faculty, staff, and students have been kind and welcoming. From Izumi to Mikuni and Tojinbo to Takahama beach, Fukui contains a wealth of treasures. Don't listen to people when they call Fukui the "inakaka." If they do, then I want you to proudly say, "I love the inakaka!" I have visited every corner of Japan, and I promise you, Fukui is something extraordinary. My parting advice is this: after this pandemic, go out and have an adventure. Not USJ. Not Tokyo. I want you to go out there and explore Japan. Get the next 青春18きっぷ, and just go! Then, try and visit a foreign country. I have observed thousands of students in my life, and I can always tell the students who have had an adventure out there, traveling. Traveling increases confidence, motivation, and understanding of the world. Nothing else can do that quite as well.

## Center Comments [編集後記]

This was a challenging year for people around the world. The daily lives of many changed significantly. The English Education Center would like to thank everyone who participated in our events and made a difficult time more bearable. Throughout this year our students thrived. Many students took the TOEIC® exam and this year's top students scored well above the national average! Also, even though we could not travel, we were still able to see our friends from Fullerton, California. Our students were able to meaningfully interact and share their thoughts and ideas with students from the United States. We hope that this coming year will see a return to normalcy and that our students will continue to persevere and succeed.

### 参加学生 の声

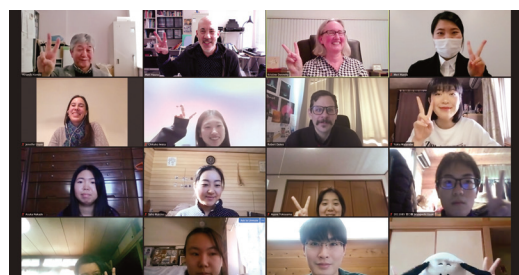
心理学科1年  
宮口 樹

外国の方が多く参加され、英語ばかりで最初は緊張し難しく感じましたが、丁寧にゆっくりと質問をしてくれましたので、分かりやすかったです。英語で知らない人と話すのはとても新鮮でした。英語でコミュニケーションをとることができ、楽しくていい経験になりました。

### 参加学生 の声

心理学科1年  
加藤 真章

I was a little nervous, but it was fun because I was able to express my opinions openly and the subject of the talk was easy. Thank you for a good time!



### 参加学生 の声

コミュニケーション学科3年  
中出 明日香

It was a little bit difficult for me, but I could learn a lot of things from Professor Dennehy's lectures. I didn't know about America's past, because I didn't have any opportunities to learn about it in world history class when I was a high school student. So, the topic of the bubble economy years was very interesting. Also, I learned about Professor Dennehy's school days, and it was good to know why she was interested in Japan. I am more interested in America and foreign languages now.



**田中 浩子 さん** (英語教育センター職員)

振り返れば、限りなく思い出が湧いてきます。海外からの学生来学など、色々な経験をさせて頂きました。多くの方々に教えられ、助けられながら今日まで勤めさせて頂きました事を深く感謝しております。仁愛大学の益々のご発展と皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

# EEEC NEWS

## Essential Information



### 未来へ羽ばたく力で 新たな自分へ

英語教育センターは本学学生の英語コミュニケーション能力と異文化理解力の向上を目指して、全学の英語教育の実施、留学希望学生への支援、英語検定試験のサポートや自主学習支援を行っています。



## TOEIC® IP を全学で実施しています！

本学の英語教育の指針として、**TOEIC® IP**を全学で実施しています。1年次には、入学時のプレースメントテストとして**TOEIC Bridge® IP**を、後期のアチーブメントテストとして**TOEIC® IP**を、全員が受験します。2年次以上は年2回**TOEIC® IP**を学内で受験するチャンスがあります！

### ALC NetAcademy NEXTで TOEIC®対策！

本学ではTOEIC®に対応したオンライン自己学習システムを導入しており、PCやスマートフォンでいつでも、どこでも学習できます。



### TOEIC® IP 受験のメリット

#### 1 TOEIC® IP スコアコンテスト

2021年度もスコアコンテストを開催します。「学科選抜賞」(各学科上位2名ずつ(計8名))、「学長賞」(「学科選抜」入賞者の最高スコア獲得学生)を授与します。TOEIC® IP受験者は、自動的にスコアコンテストにエントリーされます。ふるってTOEIC® IPに挑戦してください。

※TOEIC® IP: 団体受験用TOEIC®

#### 2 留学プログラム助成金(人間学部対象)

TOEIC® IP受験者は、仁愛学園後援会による留学プログラム助成金を受けることができます。

#### ●「フィールドワーク演習(国際交流)」…………… 5万円程度

※助成人数や受験年度など詳細については、英語教育センターまでお問い合わせください。

2021年度 TOEIC® IPは6月と11月に実施予定です。詳細は追ってご連絡します。

## TOEIC® IP Score Contest Awards Ceremony

2021年1月27日(水) 13:30~13:50 オンラインで令和2年度TOEIC® IPスコアコンテスト表彰式が行われました。マシュー・ハウカ英語教育センター主任の司会で紺渡幸幸英語教育センター長から入賞者一人ひとりに学科選抜賞が、田代俊孝学長より最優秀者に学長賞が授与されました。田代学長、石川・杉島両学部長、大河学科長他、受賞した学生の指導の先生方も出席していただき健闘を称えていただきました。



学科選抜賞			
心理学科	宇野 秀哉(1年)	健康栄養学科	牧野 莉奈(1年)
心理学科	伊東 華蓮(1年)	健康栄養学科	鍵主 光里(1年)
コミュニケーション学科	黒川 紗妃(4年)	子ども教育学科	山内 愛結(1年)
コミュニケーション学科	伊藤友紀菜(3年)	子ども教育学科	東 桜花(1年)
学長賞			
コミュニケーション学科 黒川 紗妃(4年)			



## Studying Abroad

## EEC Interviews



## パース(Australia)への留学

コミュニケーション学科4年 黒川 紗妃

## 1 留学の目的は何でしたか？

黒川 仁愛大学に入る前から、長期留学を決めていました。生まれも育ちも福井で、物事に対する考え方の幅が小さく、視野が狭いと感じていました。オーストラリアのような多民族、多国籍の人たちの国で、自分の見聞を広め、高い英語力を身につけようと考え、留学を決めました。

## 2 なぜオーストラリアを選んだのですか？

黒川 高校生のとき、オーストラリアの国際交流プログラムに参加しました。オーストラリアのアットホームな雰囲気や人のやさしさに魅力を感じ、長期滞りするならオーストラリアに行きたいと考えていました。英語力の向上を目指して、オーストラリアの中でも、パースという比較的日本人の少ない場所を選びました。

## 3 留学先でどのように過ごしましたか？

黒川 半年、語学学校で英語を学びました。英語力向上のためにも留学生以外の現地の人と交流したいと考え、共通の趣味を持つ人を集めてイベントを開催するサービスを利用して、コミュニティに参加しました。私は、バレーボールの趣味を持つ人と集まり、やり方を教えてあげたり一緒にゲームをしたりして楽しみました。また、レストランでのアルバイトを経験し、文化の違いや接客用語を学ぶことができました。これらの経験で、積極性、英語力はグンと上がりました。



## キャンベラ(Australia)への留学

コミュニケーション学科4年 出口 侑佳

## 1 なぜ長期留学をしようと思ったのですか？

出口 今までは短期留学を何回かしているのですが、短期では英語をちゃんと習得したり、現地の文化を知り始めたり、友達ができ始める前に帰国してしまい、もっと現地に残って勉強したいという気持ちが強くなったから、長期留学でより深いところまで学ぼうと思いました。

## 2 なぜ留学先にオーストラリアを選んだのですか？

出口 私が高校生の頃、初めてオーストラリアに行った際、アメリカやほかの国よりも多文化で、いろんな国の人々が共生し、オーストラリア独自の文化が根付いているなど、とても魅力的な国だと感じたからです。また、現地には6年ほど連絡を取り続けていた友達がいる、その子に会いに行きたかったという理由もあります。

## 3 留学先では何をしましたか？

出口 勉強面では、現地の語学学校へ通い、IELTSの勉強をしたり、日本の大学でも学ぶような内容の授業も現地の大学生と一緒に受けたりしました。長文のエッセイを書く課題は少し苦労しました。しかし、生活面では、現地の友達や他国から来た留学生たちとボードゲームをしたり、ショッピングを楽しんだり、歴史館や動物園へも足を運びましたし、地域のお祭りなどのイベントでボランティアをしたりなどとても濃密な時間を過ごしました。

## 4 一番印象に残っていることは何ですか？

出口 長期留学では、短期だけでは見えない部分があるということです。やはり、日常生活でも楽しい面ばかりだけでなく、差別や偏見が根深くあるので、嫌な言葉を言われたり、差別的な態度をとられたり、辛い思いもしました。しかし、その経験もあってさらに英語をもっと上達したい、周りの人を大切にしたいと強く思うようになりました。また、現地でこのようなことがあったので、日本にも見えない差別があるのかも考えるようになりました。

## 4 留学経験を通してどう変わりましたか？

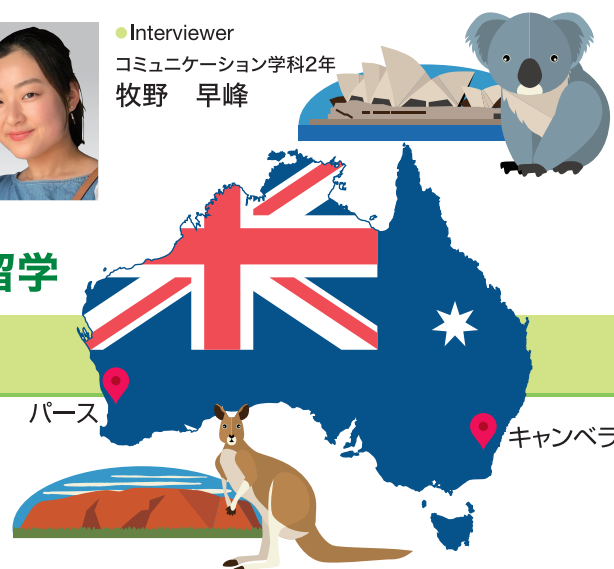
黒川 留学前は、行動力がなく、誰かに指示されてから動くなど受動的な人間でした。しかし留学を経験して、自分から話しかけたりイベントに参加したりして、自ら行動する力を身につけました。帰国後は、国際交流イベントやボランティア活動に積極的に参加し、さまざまなことにチャレンジしました。この留学経験は、これから出くわす困難や初めての経験を乗り越える行動力、自身のさらなる成長につながるでしょう。

## 5 黒川さんからのメッセージ

黒川 "There are many things you can't do because of the virus but everyone's life is just as hard as yours. Time keeps passing even in this situation. Let's do what we can do now while looking forward to the future."



●Interviewer  
コミュニケーション学科2年  
牧野 早峰



## 5 留学を通して得たことは何ですか？

出口 英語が上達したのはもちろんですが、自分の今までの考えがガラリと変わったことが大きいです。例えば留学先での文化では、発言したことがすべてなので、日本の文化である「空気を読む」という文化は全く通じず、自分が発表しているときに現地の友達が途中から割り込んで話し始めてしまい、自分が何も言えなかったことに対して評価が下がってしまったことがありました。また、ディスカッションに参加できなかったり、言いたいことが上手く言えなかったり、発言しないといけない場面が多々ありました。しかし最後の方にはディスカッションでは必ず自分の意見を持つようになりました。



●Interviewer  
コミュニケーション学科2年 岩佐 知可子

長期留学では、短期では味わうことができないような経験ができるので、良いなと感じました。また、現地の友達とシェアハウスをしたり、アルバイトで日本語教師をしたりなど、生活と語学が常にあるので、英語力がぐんと上がりますし、現地での生活で差別や偏見を目の当たりにし、世界の現状を実際に経験することで異文化理解が深まります。長期留学でしか得ることができない知識や経験がたくさんあるので、私も長期留学に挑戦してみたいと思いました。オーストラリアでできた友達、現地での生活で得たものやいろんなことにチャレンジした心を忘れず、ぜひ次のステップへ向かってほしいと思います。

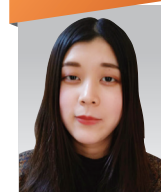
## Student Presentations

コミュニケーション学科3年  
前田 芽里



What do you think about gender-related issues? There are people who love the opposite sex, who love the same sex, or who love both sexes. Also, there are many people who recognize that their body and heart are the same, but their body's sex and their heart's sex are different. We cannot judge people by their appearance. Many people identify as being part of the LGBT community. LGBT is used to describe four common sexual minorities. L is lesbian meaning women who are attracted to other women. G is gay meaning men who are attracted to other men. B is bisexual meaning a person who is attracted to both sexes. And T is transgender meaning a person whose sex at birth does not match how that person feels in their heart and mind, so this person strives to live as they feel.

コミュニケーション学科3年  
川端 茉琴



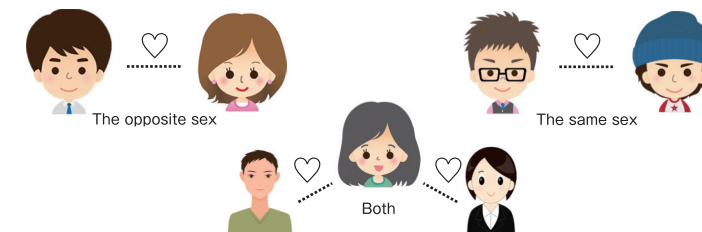
Development Goals or SDGs consist of 17 goals. The member nations are trying to achieve these 17 goals by 2030. I picked one of the 17 goals, the problem of poverty. There are many people who suffer from poverty in the world today. Especially, in the Central African Republic, the Republic of Madagascar, the Republic of Congo, South Sudan, and the Republic of Zimbabwe. Their poverty rates are all over 60%. In these countries, there are many problems such as continuous conflicts, serious droughts, poor crop yields, and child labor. These situations lead to poverty. In my opinion, ending wars is the most important thing to overcoming poverty. Of course,

コミュニケーション学科3年  
渡部 友希亜

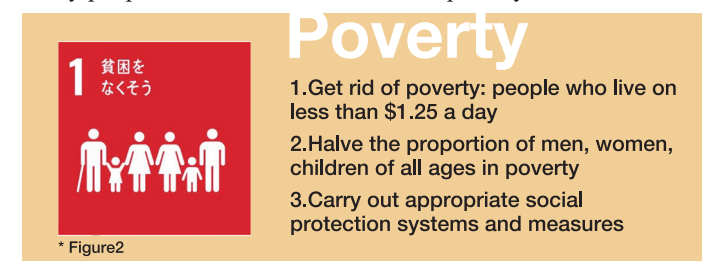


In my presentation, I talked about how Fukui is a wonderful place to live compared to other prefectures, mainly Tokyo. I was so surprised that Fukui has a lot of benefits concerning money, average commuting time, housing, childcare, and so on. I especially appreciate those raising children because it is important for parents to be there to help their children. There is almost no issue of daycare waiting lists in Fukui, unlike many other places in Japan. We can balance work and childcare in Fukui. It is important for us to have a safe and secure environment to raise children. Fukui has a lot of natural beauty. I understand you might yearn to live in the city, but I would like to tell you that you will see the good points of Fukui if you look at it differently.

Nowadays, I think people are more interested in gender-related issues. This is because we can watch dramas that reflect the LGBT community more than before, and some YouTubers have come out as LGBT and have shared useful information. Also, a friend of mine is a lesbian. She came out to me, so this issue is close to me personally. However, it is a fact that prejudice and discrimination exist against people of the LGBT community. So, I want you to think about gender-related issues more and more, and I hope that everyone can live equally and peacefully.



it is very difficult. However, if they can't end their wars, their poverty will last forever. I think there are many things which we can do for them. For example, we can donate money to worthy causes. Also, we can buy fair-trade products. I hope that their poverty rates will decrease and they will live more peacefully. We should all think of what we can do to overcome the problem. I want many people to know the seriousness of poverty.



We should think of our future lives in the long run. I hope you will live a happy life here in Fukui! Finally, this online presentation was a really good opportunity for me. It was fun to research my interests and make a solid presentation. I know I learned some new presentation skills, too. Don't forget to join next time. It's your turn to present something that interests you!



## EEC Clubs

## Our World Today

今日、日本や世界が抱えるさまざまな問題について、CNNのような英語のニュース、著名人のスピーチのような動画やThe Japan Timesなどの英字新聞を通して理解を深め、英語で話し合う英語クラブを開催。自分の意見や考えを英語で表現する絶好の機会でした！メンバーはZOOMを使って、オンラインで自宅から参加しました。

